

ははたく!ひろがる!心の広場

開
館

周年!

2025 開館20周年記念公演ラインナップ



芸術監督
佐渡 裕

兵庫県立芸術文化センター

2024.12.29~2025.12.31

20年間のご声援、ありがとうございます！ 想いが集い、はばたく“心の広場”で これからも、一緒に

多くのお客様とともに、多くの感動に出会った、芸術文化センターの20年。開館20周年プレ企画として行った「思い出ポスト」では、お客様から芸文センターでの“思い出”をたくさんお寄せいただきました。ありがとうございました。

その一部をご紹介しますながら、20年の風景を綴ります。これからもますます、素敵な想いに溢れる劇場となることを願って――



2004



20代・男性

小学校5年生の時に初めて芸文センターでの佐渡監督の演奏会に行き、興味を持つようになって中学校で吹奏楽部に入部。学生時代のほとんどを芸文センターで過ごしていました。

初めてのオペラは、2009年の「ヘンゼルとグレーテル」(リバイバル)でした。小学生だった私は、「難しそう、途中で寝てしまったらどうしよう」などいろいろ想像しましたが、いざ観てみると、五感をフルに使って物語の世界に入り込むというオペラの醍醐味を自然に感じることができました。

建設中の芸文センターを駅前から撮影！

70代・男性

2024年8月の「のだめカンタービレの音楽会」が通算2261回目の芸文公演となりました。開館時の第9交響曲から、毎年150の公演を鑑賞してきました。PAC定演、スーパーキッズ、オペラ、ジルヴェスター、ワンコイン・コンサートと主催公演のほとんど鑑賞しています。



2008

プロデュースオペラ「メリー・ウィドウ」では12回公演を実現！
兵庫でしか作りえないプロダクション、と大きな話題に



2013

大晦日恒例の「ジルヴェスター・コンサート」では、PACオーケストラ、豪華出演者と共に1年の締めくくり&新年のお祝い！(写真は2013年公演)

初のプロデュースオペラ「ヘンゼルとグレーテル」では本物の“お菓子の家”を展示



2005



2005年 開館の予告ポスターは「ジャジャジャーン♪」



2005年開館！オープニングパレードの様子



60代・女性

21年前に関西へ帰ってきた当時はまだ西宮球場がありました。ややして、芸文でジルヴェスター・コンサートが開かれていることを知り、大晦日は芸文で年越しが我が家の恒例行事となりました。「ああ今年もなんとかが無事に過ごせた」と感謝しながら。いつしか12月のJazzやワンコイン・コンサート、小曾根さんと、素敵な思い出を積み重ねています。

80代以上・女性

思い出が多すぎです。夫と何度も通った定期演奏会。先年、夫が旅立ち数年間空白ができました。2024年9月14日の定期演奏会、久しぶりも重なったからでしょうか、身の内も外もどっぷり音楽に浸りました。座席に埋もれそうでした。なんと良い一日だったことでしょう。私の膝で夫も一緒に鑑賞いたしました。



2012



兵庫発の新作ミュージカル「神戸 はばたきの坂」には思い出ポストにも感動の声が寄せられました。

OPENING

中画は20周年記念公演ラインナップ ▶▶▶

30代・女性

「楽しかったね!!」生まれて初めて、音楽鑑賞をした子どもの言葉です。産後子育てに追われ、音楽を聴きに行く時間がありませんでした。ひょんなことから、「プレミアム芸術デー」で、子連れでも音楽鑑賞ができるということを知りました。コンサートでは久しぶりに心躍る気分を味わうことができました。また、子どもにとっての初めての音楽鑑賞も、音楽が楽しいものであるという良い経験をさせていただくことができました。



2020年は15周年ながらコロナ禍に見舞われた年でした。写真は春の臨時休館中に掲げられた横断幕。
オンライン企画にも大きな反響をいただきました。



2020



15周年記念演奏会はPACと合唱がステージを満たした「第九」。まだソーシャルディスタンスは保ちつつ、再びホールに集えることを喜び合いました。



兵庫県内の全公立中学校1年生(私立等は希望)を招く「わくわくオーケストラ教室」。今までに80万人を超える中学生が来場!皆様の心に残っていると嬉しいです。

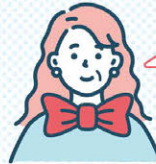
2022



朗読劇「アネト〜姉と弟の八十年間の手紙〜」ほか、芸文センター発の舞台作品をプロデュース。神戸を舞台にした新作などを発信しています。

60代・女性

オープン当初からクラシックをはじめバレエ、落語、狂言、お芝居といろんなジャンルでいつも楽しんできました。中でも2020年のカッティングエッジ狂言。つらい出来事があり、ためらいましたが、迷いながらも行くことにしました。公演はとても楽しく何もかも忘れて大笑いし、つらい気持ちや緊張して凝り固まっていた私の心を癒してくれました。



2015



2015年は開館10周年。センター前の高松公園で街の皆様と記念ポスターを撮影

2014

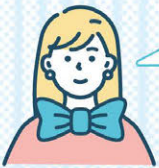


プロデュースオペラ開幕の前日には「オペラ前夜祭」を開催。地域の中学校吹奏楽部と佐渡芸術監督の共演や盆踊りなど、街の皆様と共にオペラの夏を盛り上げます!

(写真は2014年「コジ・ファン・トゥッテ」前夜祭)

50代・女性

西宮にある大学を阪神・淡路大震災の年に卒業しました。その後、西宮へは足が遠のき、芸文へもクラシック初心者だったため一歩を踏み出せず...数年前、母校で佐渡さんが講演されたことをきっかけに公演をチェック。コロナ禍で、私が医療従事者のため直前まで迷いつつもチケットをとり、初めてPACの定期演奏会へ(2023年1月)。久々に聴いた生の音楽に感動しました!その後、芸文での公演にはまり、新たな楽しみが増えました。震災を忘れず後につなげていくための活動も続けていってほしいです。



震災からの心の復興のシンボルとして歩んできた芸文センター。2011年の東日本大震災の後にはスーパーキッズ・オーケストラが複数回、被災地での演奏活動を行いました。また2024年の能登半島地震を受けて被災地の芸術活動支援募金を行うほか、様々な活動を通じて被災地の方にも心のビタミンをお届けできればと願っています。

おかげさまで、兵庫県立芸術文化センターは2025年に開館20周年を迎えます。同時に、阪神・淡路大震災から30年という節目となります。心の復興のシンボル、そして“みんなの心の広場”であることを目指して成長してきたセンターが、多くの方々にとっての“心のビタミン”を作り出す、かけがえのない場所となっていましたら、こんなに嬉しいことはありません。

この20年、たくさんの拍手と声援、そしてすばらしいアーティストや関係者の皆様に支えていただき、無我夢中で取り組んできました。心より御礼申し上げますとともに、これからも、ますます笑顔があふれる“広場”であり続けたい、さらに多くの人や次の世代にもつないでいきたいと、想いを新たにしています。20周年はそのための大きなステップです。ご一緒に20周年を楽しみましょう!

佐渡 裕

「心の広場」20周年ありがとう!!

(M) Sadoh



特別な記念公演が彩る開館20周年

2024.12.29~2025.12.31 ※記載のない公演はすべて2025年開催

大 KOBELCO 大ホール 中 阪急 中ホール 小 神戸女学院小ホール

佐渡裕芸術監督とPACが贈る オペラ&オーケストラ

指揮:佐渡 裕(芸術監督) 管弦楽:兵庫芸術文化センター管弦楽団

ジルヴェスター・スペシャル・コンサート2024

20周年のスタート!

ワーグナー:「ニュルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲
ガーシュウィン:「ラブソディ・イン・ブルー」ほか

ピアノ:角野隼斗 バレエ:中村祥子 管弦楽:兵庫芸術文化センター管弦楽団
弦楽合奏:スーパーキッズ・オーケストラ 合唱:ひょうごプロデュースオペラ合唱団

2024.12.29(日)、30(月)、31(火) 各日3:00PM 大 予定枚数終了



佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ2025

「さまよえるオランダ人」

プロデュースオペラ20作目は初のワーグナー!

(全3幕/ドイツ語上演・日本語字幕付/新制作)

音楽:リヒャルト・ワーグナー 演出:ミヒャエル・テンメ
合唱:ひょうごプロデュースオペラ合唱団

7.19(土)~27(日) 全7公演 各日2:00PM 大 2月発売予定

出演(ダブルキャスト):【左キャスト】7/19、21、24、27 【右キャスト】7/20、23、26

| | | |
|-----------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| オランダ人 ヨゼフ・ワーグナー 高田智宏 | ダーラント ルニ・ブラッターベルク 妻屋秀和 | ゼンタ シネイド・キャンベル=ウォレス 田崎尚美 |
| エリック ロバート・ワトソン 宮里直樹 | マリー ステファニー・ハウツィール 塩崎めぐみ | 舵手 鈴木 准 清水徹太郎 |

兵庫芸術文化センター管弦楽団 定期演奏会

定期演奏会 第156回

阪神・淡路大震災から30年 祈りを込めて大規模上演

大友良英:「そらとみらいと」

マーラー:交響曲 第8番「千人の交響曲」

ソプラノ:並河寿美、小林沙羅、小川里美 アルト:清水華澄、林 美智子
テノール:小原啓楼 バリトン:キュウ・ウオン・ハン バス:妻屋秀和
合唱:マーラー「千人の交響曲」合唱団

1.17(金)5:46PM、18(土)、19(日) 各日3:00PM 大 予定枚数終了

定期演奏会 第161回

第二次世界大戦終戦から80年 平和を願うレクイエム

ブリテン:「戦争レクイエム」

ソプラノ:並河寿美 テノール:清水徹太郎 バリトン:キュウ・ウオン・ハン

8.8(金)、9(土)、10(日) 各日3:00PM 大 1回券2月発売予定

定期演奏会 第162回

20年目のシーズン開幕を飾る! ブルックナー:交響曲 第0番

9.12(金)、13(土)、14(日) 各日3:00PM 大

2025-26シーズン
通し券4月発売予定

開館20周年記念演奏会

12.11(木)3:00PM 大

定期演奏会 第165回

12.12(金)、13(土)、14(日) 各日3:00PM 大

2025-26シーズン
通し券4月発売予定

開館を飾った歓喜の歌が、20年の節目に響く、
記念演奏会&定期演奏会!

ベートーヴェン:「第九」



開館10周年記念演奏会より



世界のオーケストラ、古楽、ジャズ…沸き立つ音楽

パロッド・オペラ・エボリューション2025

濱田芳通&アントネッロの「オルフェオ」

躍動のパロッド・オペラ!
古楽界の旗手が
“400年前の最先端”を魅せる!

(プロローグと全5幕/イタリア語上演・日本語字幕付/新制作)

音楽: クラウディオ・モンテヴェルディ
指揮: 濱田芳通 演出: 中村敬一
出演: 坂下忠弘、岡崎陽香、中山美紀
彌勒忠史、中嶋俊晴、松井永太郎 ほか
管弦楽: アントネッロ

2.15(土)、16(日) 各日2:00PM

中 好評発売中



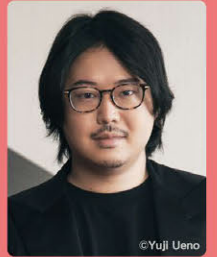
佐渡裕指揮 トーン・キーン・ストラ管弦楽団 ピアノ: 反田恭平

ウィーンの名門を率いる最後のシーズン!
盟友・反田恭平と熱く締めくくる!

モーツァルト:
ピアノ協奏曲 第23番
マーラー:
交響曲 第5番

5.10(土) 5:00PM

大 2024.12.13(金)センター会員先行予約/12.15(日)一般発売



山田和樹指揮 バーミンガム市交響楽団

進撃を続けるマエストロ、英国の名門と凱旋!
西宮出身・河村尚子の協奏曲も!

ラフマニノフ:
ピアノ協奏曲 第2番
チャイコフスキー:
交響曲 第5番 ほか

ピアノ: 河村尚子

6.29(日) 2:00PM

大 好評発売中



クラウス・マケラ指揮 ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団

20代で世界の頂点を極めた若きマエストロ
世界三大オーケストラとともに待望の初登場!

R.シュトラウス:交響詩「ドン・ファン」 マーラー:交響曲 第5番 ほか

11.15(土) 3:00PM 大



Hyogoクリスマス・ジャズ・フェスティバル2025

渡辺貞夫(アルトサクソ)

常に世界のジャズの最前線を行くレジェンド
その粋を目に耳に焼き付けたい!

12.4(木) 大



ジルヴェスター・ガラ・コンサート2025

20周年の締めくくり 未来へ向かうシンフォニー

指揮: カーチン・ウォン 管弦楽: 兵庫芸術文化センター管弦楽団

12.31(水) 大

2023年ジルヴェスター・ガラ・コンサートより



小曾根真(ピアノ) No Name Horses 20年目のthe Day 1

進化し続ける最高のスイング
最強ビッグバンドのアニバーサリー公演! 12.16(火) 大



ほかにも、多彩な

無限大 伝統芸能から最先端の演劇作品まで 舞台の上は∞

ミュージカル「next to normal」

トニー賞3部門・ピューリッツァー賞受賞の衝撃作が再び!

音楽:トム・キット
脚本・歌詞:ブライアン・ヨーキー
歌詞:小林 香
演出:上田一豪
出演:望海風斗、甲斐翔真、渡辺大輔
小向なる、吉高志音、中河内雅貴



1.11(土) 12:00PM / 5:00PM
12(日) 12:00PM
13(月・祝) 12:00PM

中 残席わずか

ケムリ研究室no.4「ベイジルタウンの女神」

ケムリ研究室旗揚げ公演、待望の再演決定!

作・演出:ケラリーノ・サンドロヴィッチ
出演:緒川たまき、古田新太、水野美紀、山内圭哉、坂東龍汰、藤間爽子
尾方宣久、菅原永二、植本純米、温水洋一、犬山イヌコ、高田聖子 ほか

5.22(木)~25(日) 中



兵庫県立芸術文化センタープロデュース 「明日を落としても」

巨匠・栗山民也演出によるプロデュース公演
神戸の老舗旅館を舞台に、
震災からの心の再生を描く

演出:栗山民也
脚本:ピンク地底人3号

10月 中



劇場へ行こう~躍動する古典芸能の世界~

開館20周年の節目に各界の舞台人が登場!
今後の劇場文化を語る

第一部

トーク「劇場文化を語る」
豊竹若太夫(文楽太夫)
山本章弘(能楽師)
辰馬朱満子(白唐禄水苑 総合プロデューサー)
河内厚郎(芸術文化センター 特別参与)

総合司会:桂 吉坊

2.1(土) 2:00PM

小 予定枚数終了

第二部

古典芸能の競演
能 仕舞:上田宣照、上田拓司
落語:桂 福丸 筑前琵琶:川村旭芳
講談:旭堂小南陵



あたか ひょうご能「安宅」

20周年にふさわしい大曲
奥州をめざす義経弁慶一行と
関守・富樫の、息もつがせぬ対峙

第一部 トーク、仕舞 第二部 能「安宅」

出演:上田拓司(シテ) ほか

9.21(日) 2:00PM 中



ひょうごの民俗芸能祭 第三弾 ~五国の川と文化遺産~

兵庫のヒストリアン・田辺真人先生のナビゲートで
兵庫県の民俗芸能を楽しもう!

千谷麒麟獅子舞、淡路人形浄瑠璃、デカンショ節 ほか(予定)
総合プロデューサー:田辺真人(兵庫県立兵庫津ミュージアム名誉館長、園田学園女子大学名誉教授)

11.1(土) 中

前回の公演より
(せきのみや子ども歌舞伎)



大看板が続々!落語シリーズ

笑福亭鶴瓶落語会

20周年で20回! 初笑いは芸文で

1.25(土)、26(日) 各日2:00PM 中

2024.12.14(土)センター会員先行予約
12.15(日)一般発売



桂文珍 兵庫大独演会

~ネタのオートクチュール~

あなたの1票で演目が決まる!
大人気のリクエスト寄席

11.8(土)、9(日) 中



公演が続々と登場! 2025年度ラインナップは3月に発表します!

※本紙記載の情報は2024年10月現在のものです。
変更が生じる場合がありますので予めご了承ください。

芸文センターから世界へはばたく。躍動する新進アーティストたち

2025年度ワンコイン・コンサート 出演者お披露目 新春・顔見世コンサート

ピアノ： 鈴木愛美(4/9)【大阪府出身】
 バリトン： 下林一也(6/11)【滋賀県出身】
 ヴァイオリン： 渡辺紗蘭(8/5)【西宮市出身】
 マリimba： コイチェフ・イヴァイロ(9/4)【ブルガリア出身／神戸市育ち】
 ピアノ： 北村明日人(10/7)【神戸市出身】
 テューバ： 澤村 隼(11/26)【神戸市出身】
 フルート： 三原 萌(12/17)【丹波篠山市出身】
 リコーダー： 井上 玲(2026/2/17)【大阪府出身】
 ※()内はワンコイン・コンサート出演日

1.3(金) 2:00PM 大 好評発売中



鈴木愛美



下林一也



渡辺紗蘭



コイチェフ・イヴァイロ



北村明日人



澤村 隼



三原 萌



井上 玲

そのほかの公演でも！兵庫出身アーティストにご注目！

並河寿美(ソプラノ) 1.17(金)18(土)19(日) 大 第156回定期演奏会
 【神戸市出身】 8.8(金)9(土)10(日) 大 第161回定期演奏会

高田泰治(チェンバロ) 3.6(木) 小 テレマン室内オーケストラ
 【神戸市出身】 9.20(土) 小 リサイタル



高田泰治

三浦謙司(ピアノ) 3.22(土) 大
 【神戸市出身】 アレクサンダー・ガジェヴ(ピアノ)とのデュオ



©Harald Holmann
三浦謙司

崔 勝貴(サクソフォン)【尼崎市出身】 4.19(土) 大
 水谷友彦(ピアノ)【神戸市出身】 原田慶太楼指揮「ドリーム・コンチェルト」
 山口莉奈(ギター)【西宮市出身】

河村尚子(ピアノ) 4.20(日) 小 室内楽公演
 【西宮市出身】 6.29(日) 大 バーミンガム市交響楽団

貞松・浜田バレエ団 5.31(土) 6.1(日) 中
 【神戸拠点】 中村恩恵振付「ベートーヴェン・ソナタ」



©岡村 嘉夫(テス大阪)
貞松・浜田バレエ団

清水徹太郎(テノール) 7.20(日)23(水)26(土) 大
 【神戸市出身】 佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ「さまよえるオランダ人」
 8.8(金)9(土)10(日) 大 第161回定期演奏会

小曾根 真(ピアノ) 12.16(火) 大 No Name Horses(ビッグバンド)
 【神戸市出身】

愉しみひろがる！人気のシリーズ・楽団公演も大充実！

まだ見ぬ世界へ 音楽の旅
 世界音楽図鑑 夏至祭(北欧音楽)
 6.20(金) 中



新鮮！心に響く古の情熱
 音楽の愉しみ
 テオドーロ・パウ(ヴィオラ・ダ・ガンバ)&
 アンドレア・ブッカレッタ(チェロ)
 11.8(土) 小



お散歩するように音楽に親しむ
 プロムナード・コンサート
 カール・ハインツ・シュッツ(フルート)&吉野直子(ハープ)
 6.8(日) 大



2023年の公演より

様々なジャンルで一歩上の愉しみを
 ステップ・シリーズ 東京六人組
 上野由恵(フルート)、荒絵理子(オーボエ)、金子 平(クラリネット)
 福士マリ子(ファゴット)、福川伸陽(ホルン)、三浦友理枝(ピアノ)
 10.25(土) 大



兵庫芸術文化センター管弦楽団 定期演奏会 大

第157回 2.21(金)~23(日・祝) 指揮：クリスティアン・アルミンク

第158回 3.7(金)~9(日) 指揮：川瀬賢太郎

第159回 5.23(金)~25(日) 指揮：ミハイル・プレトニョフ

第160回 6.20(金)~22(日) 指揮：ユベール・スターン

2025.9→2026.8 シーズン通し券は4月発売予定！

定期演奏会や室内楽演奏会のお得なご鑑賞、公開リハーサルへのご招待、パンフレットやグッズの進呈といった特典がございます！



©Shunpei Ohsugi
クリスティアン・アルミンク



©NHK
川瀬賢太郎

若手音楽家ご支援のお願い
 PACは多くの方からのご寄附に支えられています。今後も公演内容の充実や若手音楽家の育成のため、皆様からの温かいご支援を待ちしております。



©NHK
ミハイル・プレトニョフ



©NHK
ユベール・スターン

詳細はこちら▶



劇場デビューにも！みんなで楽しむ！

知的・発達障がい児(者)に向けての劇場体験プログラム
 「劇場って楽しい!!」

出演：ワーヘリ (外園祥一郎(ユーフォニアム)
 次田心平(テューバ)、松本 望(ピアノ))

3.1(土) 2:00PM 大



2023年の公演より



2023年の公演より

宮川彬良&
 アンサンブル・ベガ
 こどもの日スペシャル♪

5.5(月・祝) 2:30PM 大

いらっしゃいませ! 世界一のお客様!

芸術文化センターのスタッフにとっての喜びの一つ、それは、国内外の著名なアーティストが口をそろえて「この劇場のお客様はあたたかく、素晴らしい」と言ってくださること。

開館からまだまだ20年、世界の名だたる劇場の伝統には及ばないけれど、私たちは“世界一のお客様”をお迎えしているという誇りをもって日々、取り組んでいます。

ここで、芸術文化センターをこれからも皆様に楽しんでいただけるよう改めてご紹介。常連の方も、年に数回のとっておきにされている方も、20周年を機に、楽しみを一層拡げていただくと幸いです。

エントランス 素通りせずに 見上げれば

両壁にはプロデュースオペラをはじめ過去の公演写真が。「これまで何気なく通り過ぎてた!」という方も、ぜひ一度ご覧ください。



光差す Piazzetta それは みんなの広場



3つのホールの玄関口、共通ロビー。佐渡芸術監督が命名した愛称“ピアッツァ”とはイタリア語で“広場”! その一角にある“ポック”では、公演にちなんだ様々な企画展示のほか、「薄井憲二バレエ・コレクション」の常設展および年2回の企画展で、センターが所蔵する貴重な資料を展示。美術ファンも必見です。



屋外で 季節を感じる 楽しみも

花々、新緑、紅葉、冬期はイルミネーション…季節によって表情が変わる外観も楽しめます。また、KOBELCO大ホール3階および神戸女学院小ホールのハワイエからは屋上庭園に出られます。公演の休憩時間にここで一息、というのもおすすめです。

いち早く ニュースはウェブと SNS

ウェブサイトでは、公演のご案内や最新情報をお知らせしています。NEWS&TOPICSのほか、公演カレンダーの各主催公演ページに、ニュースや動画を掲載することもありますよ。



公式Xでは、各種ご案内のほか、終演後の出演者写真などここでしかご覧いただけない情報も発信。また、管弦楽団、プロデュースオペラのSNS、ウェブサイトでも随時情報を発信しています。

兵庫県立芸術文化センター

X @gcenter_hyogo

兵庫芸術文化センター管弦楽団

X @hpac_orchestra

佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ

X @hyogopac_opera

@hpac_opera

20周年特設ページはこちら



20周年の「に〜!!😊」みんなで撮影しました!

こちらのリーフレット表紙の写真は、2024年7月のプレミアム芸術デーにて、ご来場の皆様と一緒に撮影しました。おそろいの蝶ネクタイをつけていただき、「20周年の『に〜!!』」の掛け声で元気よく撮影!ご協力ありがとうございました。

※写真に入りきれないバルコニー席前方の方は内側の席に合成させていただきます。



撮影の様子

開けると 芸術監督からのメッセージ!

芸術センターは、2025年に20周年を迎え時、たくまの相棒と声援に変えていただき、無我夢中で過ごしました! 心から感謝の気持ちでいっぱいです。『心の広場』20周年ありがとう!! 佐渡裕 (Sado)



“はばたく”をイメージして皆様に着用いただいた蝶ネクタイ

表紙の写真 客席のあちこちに... 20人の 佐渡芸術監督が隠れています!

20周年ロゴに 想いを込めて



20th anniversary

カラフルな図形を組み合わせせたロゴマーク。10周年に引き続き、センターが大切にしてきた

- ネイビー…… 信頼感
- コーラル…… 地域とのつながり
- エメラルド…… 芸術性
- オレンジ…… 好奇心 に加えて、
- スカイブルー…… 飛翔 の1色を加えました。

これからも皆様と共に未来へはばたく劇場でありたいという想いを込めています。

大人も子どもも楽しめる! まる一日、センターのあちこちにお楽しみがいっぱい!



10周年オープンデーの様子

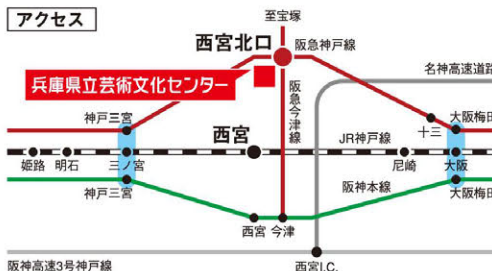
20周年オープンデー2025

11.29(土) 詳細は決定次第ウェブサイト等でお知らせします。

入場 無料

芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 (10:00AM-5:00PM 月曜休み※祝日の場合は翌日)

アクセス



◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ (連絡デッキで直結)

◎JR 西宮駅より徒歩15分 (阪急バス7分)